

	分類	質問内容	回答	回答日
1	全体	仕様書の修正	3 農村RMO形成推進事業の事業実施主体への伴走支援 (2)ア (修正前) 但し、(ホ)の要件についてはこの限りではない。 (修正後) 但し、(カ)の要件についてはこの限りではない。	2/19 修正済
2	地区選定	対象地区が確定する目安(地域研修会、話し合い活動支援)	遅くとも5月までには確定したいと考えています。	2/19
3	再委託	業務の一部を再委託することは可能か	募集要領8(3)に記載のとおり、主たる部分以外の業務などの一部を第三者に委任し、又は請け負わせる場合は、あらかじめ県の承諾を受けることととしています。内容によると考えています。	2/19
4	ファシリテーター	ファシリテーターは自社で可能か	ファシリテーターは自社で可能です。但し、むらづくりサポーターの活動としてワークショップを行う場合はむらづくりサポーターの業務の中で担う場合もあります。	2/19
5	ファシリテーター	ファシリテーターの派遣の頻度はどの程度か	1地区あたり年2回程度(打合せ、報告等)を想定しています。	2/19
6	①地域研修会	地域研修会の開催はいつまでか	履行期限までに、調整の上、実施してください。	2/19
7	②話し合い活動の実践推進支援	仕様書2P【農村RMOモデル形成推進事業候補地区】の具体的な支援について	国の事業に申請するためには、計画書の作成が必要です。規約の策定などは、基本的に事業実施主体が作成するが、地域課題の整理、活動の方向性など、計画書の作成を支援願います。	2/19
8	③むらづくりサポーター	【追加説明】 (事業実施主体)郡山農村RMOについて	・ビジョン作成支援については、別途事業実施主体が、事業費の中から委託予定です。 ・むらづくりサポーターの業務の中にワークショップ支援(ファシリテーター業務)は含めなくて問題ありません。全体的な寄り添い型の支援のみで構いません。	2/19
9	③むらづくりサポーター	【追加説明】 (事業実施主体)和田地区公民館について	・地域の意向で、これまで関わりのあった方をむらづくりサポーターに依頼する予定です。 ・寄り添い型の支援に加え、ファシリテーターの業務の経費もむらづくりサポーターの経費に計上をお願いします。	2/19
10	③むらづくりサポーター	令和7年度のむらづくりサポーターの方は、具体的にどのような関わり方をしたか	・現在のサポーターは、令和4年度から事業実施主体に支援しています。具体的には、将来ビジョン策定に向けた話し合い活動の実践支援(ファシリテーター)、ビジョン作成支援、アンケート調査内容検討、とりまとめ、リーダーの相談相手、実践活動への支援等を行っています。	2/19
11	③むらづくりサポーター	むらづくりサポーターの活動の頻度は? (現地訪問頻度の目安や支援密度の想定について)	令和7年度のサポーターの活動の積算は、1月あたり、3,550円/1時間×3時間×3回としていたので、この程度を想定しています。但し、実際のところ月に1~2回の活動となることもありえると考えています。	2/19
12	②話し合い活動の実践推進支援	【募集時のアナウンスについて】 県から市町村へ要望調査を行う際、「次年度の実施義務はない」という任意性を出して募集されるのでしょうか。それとも、基本的には「次年度以降の農村RMO形成を目指す意欲ある地区」として募る方針でしょうか。	本事業では、①話し合い活動の実践推進支援、②農村RMO形成推進支援の2段階での支援を考えています。 ①話し合い活動の実践推進支援では、「次年度以降農村RMO形成に意欲のある地区」を含むという形になると想定しています。実施義務については記載しない予定です。 話し合い活動の実践推進支援を行った地区の中で、農村RMOの形成に意欲がある地区を候補地区として挙げていただく予定です。 なお、農村RMO形成については、必ずしも事業の活用を伴うものではないと考えています。	2/26

13	②話し合い活動の実践推進支援	【地区選定が困難な場合の対応について】 市町村からの応募が2地区に満たない、あるいは農村RMO候補地区としての手が挙がらない事態も想定されます。その際、県として対象地区の掘り起こしや条件緩和などの補完的な措置を講じる予定はありますでしょうか。	県としても掘り起こしを行う予定です。	2/26
14	①地域研修会	参加者数と会場規模：想定される参加者数は何名程度でしょうか。また、県が希望する開催地（自治体など）の優先順位はありますか。	市町村または地域で、話し合い活動に意欲的な地域を選定したいと考えています。開催地については、鹿児島市以外の地域で今後選定予定です。想定規模については、20～30名規模を想定しています。	2/26
15	①地域研修会	講師の招聘方針：基調講演と事例紹介の講師は、県外からの招聘を期待されていますか。それとも県内人材での構成を想定していますか。	講師の招聘は、県内外問いません。企画提案の際に、どのような講師が考えられるか提案していただけるとありがたいです。	2/26
16	②話し合い活動の実践推進支援	具体的候補地の有無：奄美・熊毛地区の1地区について、現時点で県が想定している、あるいは要望が上がっている具体的な島や地域はありますか。	現段階では、候補地区は上がっていません。奄美・熊毛地区で候補が上がった際は、旅費等がかかることから、1地区は、奄美大島での積算を含めていただければと思います。	2/26
17	②話し合い活動の実践推進支援	追加地区のコスト負担：委託期間中に対象地区が1地区追加（計3地区）となった場合、これに伴う離島旅費や謝金の増額は認められますか。それとも460万円の範囲内での対応となりますか。	離島での開催がなかった場合は、追加での実施をお願いする場合があります。増額は認められませんので、県と協議の上、460万円の範囲内での対応をお願いすることになります。	2/26
18	②話し合い活動の実践推進支援	オンライン支援の許容度：離島地区における「話し合い活動」や「事前打合せ」について、現地側の同意があればオンラインでの実施を支援実績としてカウントすることは可能ですか。	オンラインでの支援実績も可能です。	2/26
19	③むらづくりサポーター	仕様書に『事業実施主体の意向を優先する』とありますが、地域側が希望する候補者に対し、県から謝金等の目安（単価や総額）をあらかじめ提示されている事実はありますか。また、候補者の希望額が受託者の積算（令和7年度実績の時給3,550円等）と乖離した場合、予算内での調整責任や交渉の指針について県のお考えをご教示ください。	現段階で、1地区地域の意向がある地区があります。活動日数、及び謝金等については年度当初に県を含めてサポーターと調整させていただきたいと思います。（現段階で謝金単価については了承済みです。） ・むらづくりサポーターの支援については、1万円程度/日（7年度実績相当）をお願いします。 ・ファシリテーター等話し合い活動支援が必要な地区については、20万円程度/回（7年度実績参考）×3回程度を計上をお願いします。	2/26
20	③むらづくりサポーター	情報共有の実施形態：四半期に一度の市町村・県との情報共有について、対面を必須とされますか、それとも効率化のためのオンライン実施も可能ですか。	オンライン実施も可能です。	2/26

21	③むらづくりサポーター	既存資料の提供：両地区の現在の活動状況や過去に策定したビジョン、計画書などを、提案作成時あるいは契約後速やかに提供いただけますか。	提供いたします。	2/26
22	業務範囲と行政連携について	イベント出席の規模：県や農林水産省が開催するイベントへの出席について、参加人数や開催地（県外等）の想定はありますか。	九州農政局農村RMOフォーラム（熊本市）※対面での出席をお願いします。 その他、東京での研修、各農政局が行っている農村RMOのフォーラム（東北、中国、東海、北陸）があります。（オンラインでの参加可能）	2/26
23	業務範囲と行政連携について	資料作成代行の範囲：仕様書にある「県からの資料提出依頼」には、国への補助金申請等のための「計画書作成支援」まで含まれますか、それとも現状把握の報告程度を想定されていますか。	補助事業申請等の作成は含まれません。あくまでも、地域が作成する計画書作成に対する支援をお願いします。	2/26
24	業務範囲と行政連携について	先進地視察の計画：令和8年度に具体的な先進地視察の計画はありますか。同行が必要な場合のスタッフ人数や回数の目安を教えてください。	地域が主催する先進地視察に関しては、視察先は決まっておりませんが、県外への視察を1回実施予定です。同行が必要な場合は1名を想定しております。	2/26
25	契約・支払条件	概算払いの可否：離島への派遣や講師謝金などの立て替えが発生するため、前金払いや中間払い（概算払い）の対応は可能でしょうか。	概算払の対応を予定しています。	2/26